

●K-316 製科研式フィルム酸素透過率計

食品包装、医療用フィルム、生体膜の研究分野に新製品

高分子フィルムのガス透過率測定法としては、従来真空法が多く用いられ、当社も「製科研式気体透過率測定装置」として販売してまいりました。新たに、酸素の透過だけを測定される場合のため、酸素用電極を用いた方式が、製品科学研究所により開発され「膜の酸素透過度測定計」として実用新案（No.48-18282）が出願されました。

下記のように多くの特長を持つ本器を、当社ではシリーズとして販売することになりました。食品包装用フィルム、医療用フィルム等各種分野の研究開発に御利用下さい。



●本器の特長

1. 大きな設置場所を必要としません。
2. 取り扱いが極めて簡便です。
3. 短時間で計測ができます。
4. 小さな試料（直径18φ）で測定できます。
5. 膨潤した膜でも測定できます。
6. 試料の取り付け、取り外しが簡単です。
7. 記録計をセットにしたので、データ処理が容易です。

●本器の構成

1. 電極部（+銀、-白金）
2. 測定用ピーカー及マグネチックスターラー
3. 計測装置（指示計、ガス切換コック、流量計付き）
4. レコーダー（option）

●測定の実験と方法

この酸素電極法は測定しようとするフィルムを境界として電極側に電解液を封入し外側に一定分圧の酸素を溶解する液体又は酸素ガスを接触させて透過した酸素による電流の変化を測定する方式です。一般的な測定方法としては、試料を装着した電極部を酸素ガスの溶解していない蒸留水（酸素ガスをバブルさせる）に入れ、ゼロ点を調整します。調整後酸素ガスをバブルさせ一定分圧の溶液化します。この溶液中で起こる電流の変化により透過率を測定します。

